

**勝山市地域おこし協力隊
令和5年度 活動報告**

2024年3月28日

勝山市地域おこし協力隊 山崎瑠美

目次

- 01 INTRODUCTION // 自己紹介
- 02 ACTIVITY REPORT // 活動報告

01

INTRODUCTION // 自己紹介

01
INTRODUCTION



山崎 瑠美

神奈川県藤沢市出身。

大手インターネット企業やITベンチャーでSNS事業や新規事業の責任者を経験したのち、外資系デジタルメディア日本版の立ち上げ、情報発信戦略やデータ分析、マーケティングを統括。

株式会社ハングオーバープレート代表取締役
農山漁村発イノベーション中央プランナー

01
INTRODUCTION



HANG-
OVER
PLAT

※参考 ふだんどんな会社をやっているか？

デザイン思考で
ブランドをつく
る

未来につなぐ
価値を紡ぐ

伝えたいことを
伝えるかたちで
発信力を高める

01
INTRODUCTION

国際プロジェクトから自治体、農家まで。

新規事業支援、サステナビリティ、アート、カルチャー、スポーツ、ウェルビーイングにも強み。



02
MISSION

勝山市での山崎の担当業務(令和5年度)

1. 繊維産業や食など「ものづくり勝山」の魅力を掘り起こし
ブランド化するためのリサーチ・企画推進
2. 市内外の交流拠点となるオープンスペースの活用推進企画、
地元愛につながるコミュニティの企画・運営
3. 市内・対外的プロモーションの強化に係る活動



 **サステナブルな勝山の誇りを未来につなげる**

02

ACTIVITY REPORT // 活動報告

02.1
ACTIVITY REPORT



**【活動1】勝山の組紐工場とともに
ダイバーシティ(多様性)文化を支援**

02.1
ACTIVITY REPORT

多様な人々が、自分らしく心地よく暮らせる勝山の推進 ～勝山市の「パートナーシップ宣誓制度」スタートにむけて～

●パートナーシップ宣誓制度とは

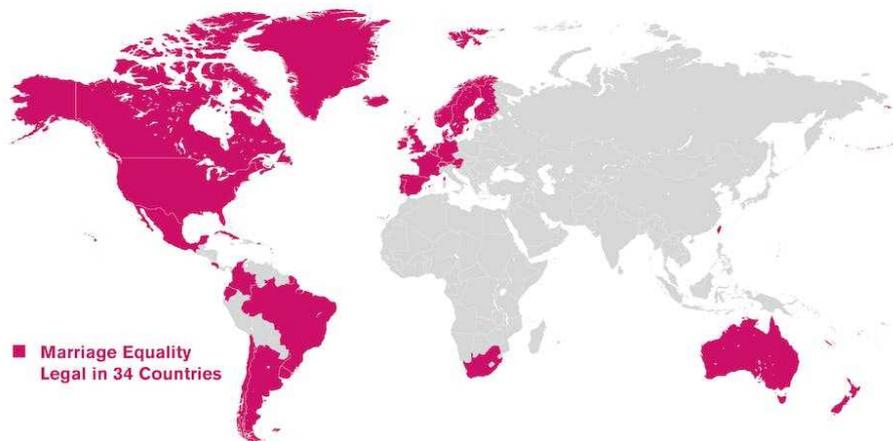
お互いを人生のパートナーとして、相互に協力し合う関係であることを宣誓した、性的少数者や事実婚の方に対して、自治体が「パートナーシップ宣誓書受領証」及び「パートナーシップ宣誓書受領証明書(希望者のみ)」を交付する制度です。

公的機関や企業、病院などで夫婦と同様のサービス等を受けられます。



02.1
ACTIVITY REPORT

世界では、すべてのSOGI(好きになる性・性自認)を守る
「同性婚」を認める流れに。

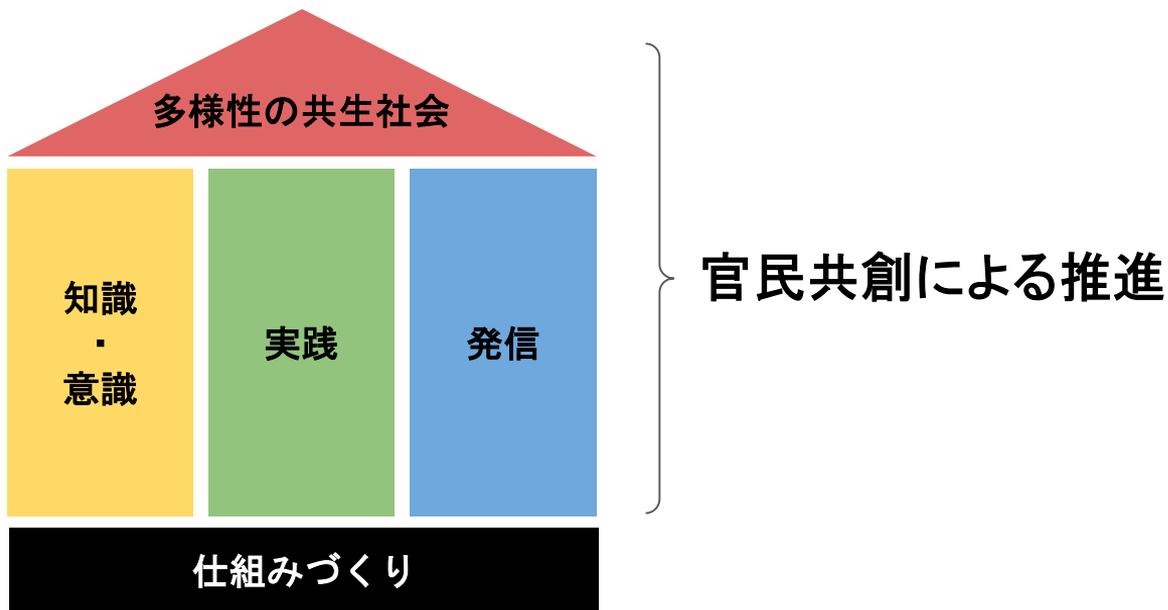


勝山市は、
福井県内ではいち早く
パートナーシップ宣誓制度
を導入

※G7加盟国で、同性婚の法律を制定していないのは日本のみ

02.1
ACTIVITY REPORT

多様な人々が、自分らしく心地よく暮らせる勝山の推進
～勝山市の「パートナーシップ宣誓制度」スタートにむけて～



02.1
ACTIVITY REPORT



企業・市民による取り組み ～多様性を表す6色レインボー・プロダクトの制作～



中島潤さん
認定NPO法人ReBit事務局長と
コラボレーション



多田製紐、中島氏、勝山市有志との協業によるレインボー・プロダクト企画開発

ロット製造で余った「捨てられるはずの糸を、誰かの希望に変えよう」

02.1
ACTIVITY REPORT

20歳のつどい、勝山市パートナーシップ宣誓制度記念講演会、 市職員研修にてご採用



既製品の世界だと「違い」は
マイナスとわかってしまうが
「違い」は個性であり
オリジナリティの価値。

ひとは一本の
細い糸だとしても
色々な個性がつどい
交わることで
組紐のように太くなり
彩りと希望にあふれる。



02.1
ACTIVITY REPORT

SDGs・LGBTQ+の啓蒙に注力する鯖江市「さばえSDGsフェス」でも なろっさALLYさばえブースで採用・ワークショップ実施



↑ワークショップを通じて
県内コミュニティのみなさんと交流

→隣の会場「めがねフェス」出演ラッパー
MC小法師さんもブース来場！



02.1
ACTIVITY REPORT

勝山市パートナーシップ宣誓制度記念講演会 企画支援

LGBTQを含めただれもが安心して暮らせるまちづくりのための講演企画支援。

「だれひとり取り残さないまちづくり～多様な性から考える～」

- ・多様な性の基礎知識から、LGBTQの課題や生活の中で困りやすいこと、パートナーシップ宣誓制度導入の背景を知っていただいた上で、**それぞれが自分の立場で実践できること**についても紹介。
- ・ELLY福井の皆さまからのご協力を得て、**福井県内の皆さまからの生の声**を紹介。参加者の皆さまにとっても、よりテーマを身近に感じていただけるよう工夫。
- ・勝山市未来創造課 小林課長、ReBit中島氏とともに「多様な人がともに暮らす勝山市を見つめなおす」というテーマのもと、**LGBTQだけではない多様性を尊重しあうため、一人ひとりがどんな工夫ができるか**について対話。



02.1
ACTIVITY REPORT

勝山市パートナーシップ宣誓制度記念講演会 企画支援

< 来場者の声 >

「せまい意味のマイノリティの人たちではなく、本当に全ての人の『すき』を大切にする社会をめざしていることがわかりました。」

「自分は多様性を受け入れているから大丈夫やと思っていました。そういう自分が知らない内に誰かを傷つけているのだと思いました。知ること大事」

「LGBTQの知識がなかったけれど、相談されたらどうしたらよいのか、具体的に教えてくださいありがとうございました。相談される側も相談窓口に行くことは今まで考えられなかった。自殺が減り、皆が幸せになれると良いと思います」



02.1
ACTIVITY REPORT

勝山ロータリークラブでの講師活動



02.2
ACTIVITY REPORT



02.2
ACTIVITY REPORT

小学生が第一線のプロとともに「雪室」パッケージで勝山の魅力を発信 (成器南小学校との連携)



日刊県民福井、福井新聞に掲載

- 地域の魅力発信を通じて自分の暮らす町への理解を深め、誇りを感じられる子どもを育てる。
- 子どもたちの柔軟なアイデアを活かし、大人たちとともに持続可能な地域の未来を表現・開発する。
- 質の高い教育実践にむけ、業界の第一線にいる現役クリエイティブディレクター橋島康祐氏を講師に招き、月1回の授業・ワークショップを交えながら「**想いを乗せて未来を可視化するデザイン**」を体得し、**地域産業へのアウトプット＝還元まで行う。**

02.2 ACTIVITY REPORT

講師:橋島 康祐

ハジジマ コウスケ

(株)ハングオーバープレート
クリエイティブ ディレクター
Creative Director, Hangover Plate Inc.

PORTFOLIO

武蔵野美術大学卒業。外資系広告代理店、ブランドファーム、PRコンサルなどでクリエイティブ・ディレクターを
歴任。

20年のキャリアのうち5年間シンガポール、オランダ、上海、ドイツなどに駐在。

Jaxa、B.League、リニューアルした資生堂の立ち上げなど、ゼロからのブランディング経験が豊富。
コカコーラのグローバルキャンペーンなどのデジタル・エクスペリエンス関連などで国際広告賞など多数受賞。
SDGsに対応したサステナビリティやダイバーシティなどのプロジェクトを得意とし、FMCG、スポーツライフスタイル、
公共機関など幅広いクライアントワークを強い芯を持って手がけている。

サイドワークでは、アディダスドイツ本社でのアパレルデザイン、写真家・米原康正によるアパレルブランドのク
リエイティブディレクターを担当。

また現在はファッションデザイナー・環境省アンバサダーのリエ氏によるファッション視点でサステナブルを切
り取る4コマ漫画「プラスチックモンスター」をWWDジャパン誌に毎週連載中。



ものづくりの
想を得る。
創造する。
福井勝山を
創造する。

02.2
ACTIVITY REPORT

プロジェクトの歩み

デザインの役割や基礎を学び
自分の名前をロゴにしよう



企画
スタート



デザインスケッチや参考デザインを
もとにカラーパレットや要素を整理

講師と小学生たちで対話を
重ねデザイン完成へ！



同パッケージにて
雪室そば粉販売

2023/01

02

03

04

05

06

07

08



パッケージデザインを学び
勝山のどんなことを表現したいか
考えてみよう

日刊県民福井、福井新聞に掲載

雪室ブランド推進協議会に
小学生がPR企画を提案しご承認



雪室そばメニュー
考案・提案



勝山市役所記者会見
雪室そば販売発表

小学生とのコラボデザインによる、
半生そば(1人前)の
限定パッケージも発売開始へ

02.2
ACTIVITY REPORT

子どもも大人も真剣に会議しながら、プロジェクトに取り組んできました。



※写真：半年にわたる成器南小学校授業、橋詰製粉所さまとの打ち合わせより抜粋。

ほか、成器南小学校の斎藤先生、山内先生、勝山市役所のみなさん越前大仏や平泉寺にもデザインの許諾を取りに行ってくださいました！

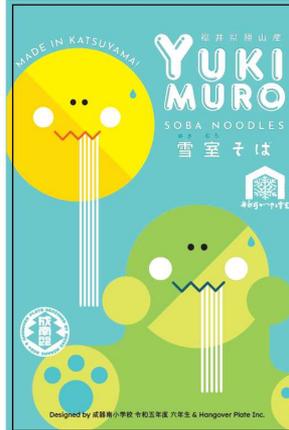
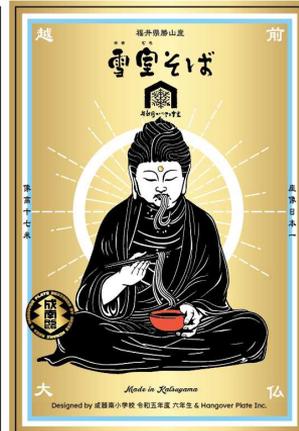
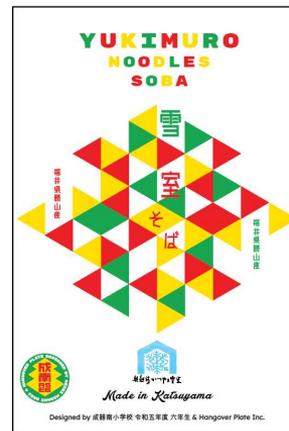
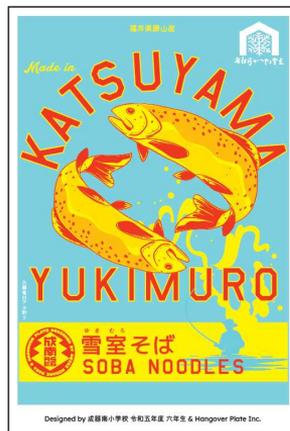
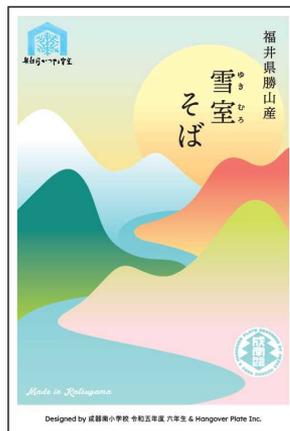
02.2 ACTIVITY REPORT

完成デザイン🍜

雪室そば粉、雪室そば(半生そば)の
限定パッケージ化！

(左上から)

- 勝山の四季
- 鮎釣り
- 左義長
- 越前大仏
- 九頭竜川
- 恐竜(影絵風)
- 恐竜(パステルカラー)
- 平泉寺白山神社



02.2
ACTIVITY REPORT



成器南小がESD大賞で最高賞 「雪室そば」パッケージ考案

2024年1月23日 05時09分 (1月23日 05時09分更新)

← 前の写真

1 / 2

次の写真 →



文科大臣賞を受け、代表して集まる勝山市成器南小学校の6年生＝22日、同校で

全国の幼稚園～高校で実践されている
ESD(持続可能な開発のための教育)を
奨励する第14回ESD大賞で

**勝山市の成器南小学校が
全国1位『文部科学大臣賞』受賞**

※中部地方では初

02.3
ACTIVITY REPORT



02.3
ACTIVITY REPORT

4月16日(日)開催!

音楽×マルシェイベント「勝ちフェス」企画運営



クラファン
挑戦中!!!!

KACHI! FES

勝ちフェス春'23
ミュージック&マルシェ

目標金額50万円
3000円からご支援いただけます。
4/9(日)まで

勝山の風物詩を
日本の風物詩に。

勝ちフェス春
23



勝ちフェス春'23
ミュージック&マルシェ

KACHI! FES

クラファン
挑戦中!!!!

4/16(日)11:00~17:00
@道の駅・恐竜溪谷かつやま

出演アーティスト

Live Stage

【内田コーヘイQ】

【ZEN-LA-ROCK】

【MUFFINS】

【クロトコン】

勝ちフェス春
23

02.3
ACTIVITY REPORT

勝山の情報発信 ～新聞・ラジオ等での情報発信～

役目を終えた鯉のぼりをアップサイクルした「ストリート割烹着」



02.3
ACTIVITY REPORT

鯉のぼりは子どもの成長と活躍を願うシンボル

→鯉のぼりを通じて、勝山から生まれるアイデアや創造性をみんなで共有し、育てよう！



お子さんも楽しめる
鯉のぼりアートの
ワークショップ！



Made in 勝山のアパレルを
ステージ衣装に！



恐竜溪谷かつやまや
フードトラックでの
新商品・オリジナル
商品も生まれる！

02.3 ACTIVITY REPORT

勝山の情報発信 ～新聞・ラジオ等での情報発信～

福井新聞 特集「ふくいをヒラク」1・3面



2022年12月18日掲載



FM福井「FUKUI SDGs compass」出演



2023年2月10日放送

02.3 ACTIVITY REPORT



勝ちフェス 春'23「勝山の風物詩を、日本の風物詩に。」

コンセプト | VIデザイン | メッセージング | イベント | 地域振興

2023 ©Hangover Plate Inc.

「勝ちフェス」を通じて、勝山の風物詩を、日本の風物詩に！

福井県勝山市では、毎年春になると、九頭竜川沿い約1.5kmにわたる勝山弁天桜の並木道に鯉のぼりが悠々と泳ぐ姿が見られる。ここ数年は支柱の老朽化によってその姿が見えなくなりましたが、2023年、この支柱を修復し、鯉のぼりの渡しが復活することとなった。

鯉のぼりは子どもの成長と活躍を願うシンボル。

ものづくり文化が根ざす勝山でも、日々新たなアイデアやクリエイティビティが生まれています。そのエネルギーをみんなで育て、地域の成長と活躍につなげていきたい。

そんな想いをこめ、勝山のクリエイティブの表現の場として、また著名なアーティストたちと勝山産のクリエイティブのコラボレーションの場として『勝ちフェス』を企画運営。

コンセプトからVI、メッセージング、運営などを担当。

02.3 ACTIVITY REPORT



02.3 ACTIVITY REPORT



勝山ブラック 道の駅恐竜渓谷かつやま
オリジナルレシピのソフトクリーム
コンセプト | ロゴデザイン | レシピ開発 | 地域振興

2023 ©Hangover Plate Inc.

福井県勝山市の道の駅恐竜渓谷かつやまとのコラボレーションにより、トルコから輸入したブラックバナラを使ったソフトクリームを共同開発。
新発売と同時期に開催されたイベント「勝ちフェス」のモチーフである鯉のぼりをイメージする金箔を振りかけ、イベントと連動するテーマ性を持たせた。

勝山市内の製紐工場「多田製紐」によるリボンをしめ縄風にあしらったイベント限定バージョンが好評を呼んだ。

02.3 ACTIVITY REPORT



吉田酒造 白龍 純米磨き九割 パッケージデザイン

2023 ©Hangover Plate Inc.

福井県永平寺町の吉田酒造とのコラボレーションによる、イベント「勝ちフェス」限定のボトルデザイン。

磨き九割は、吉田酒造で生産しているお米をできるだけ無駄なく味わってほしいとの思いから開発された通常よりも磨きの少ないお酒であり、その商品コンセプトへの共感、また、勝ちフェスのコンセプトである「地域の風物詩を、日本の風物詩へ」に共感していただき、コラボレーションが決まった。



02.4
ACTIVITY REPORT

総務省広報
令和5年8月号
巻頭ページ
インタビュー掲載

勝山での活動が
全国へ



LGBTQ+をテーマとした6色の紐で制作したキーチェーン。

まちのさらなる
魅力を形づくって
発信していきたい



福井県 勝山市
山崎瑠美さん
●令和4年7月新任 ●神前川県出身

Q 地域おこし協力隊としてどんな活動をしていますか?

「デザイン思考を地域に取り入れた、サステナブル・プロジェクトとその発信」をテーマに活動しています。例えば、組紐工場の製造過程で余った糸を使って6色レインボーのブローチを企画製造し、「ダイバーシティへの理解促進という新しい役目をもって生まれかわる」といった社会的価値を付加するモデルづくりもしています。また、勝山のものづくり文化を通じて、勝山の風物詩を日本の風物詩にすることを目指すイベント「勝ちフェス」では、観のほりでストリートかつぱうを着作り、ステージ衣装としても活用しました。

Q 今後の目標は?

勝山市のさらなる魅力づくりを続けることで、若者の地元定着へもつながってほしいと思います。また、こうした活動の発信を重ねていくことが重要で、何をどう伝えたら、広く伝わるかをまちの皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



役目を終えた観のほりを地元の縫製工場でストリートかつぱうとして再生。



地元の小学生が、第一線で活躍するプロからデザインを学び、地域の特色をテーマにしたデザイン制作を通じて勝山をPRしようという活動。

地域を変える新しい力
地域おこし
協力隊

Vol.5

地域おこし協力隊として活躍する皆さんに、地域での活動や生活の様子などをうかがいます。

Q 地域おこし協力隊に応募したきっかけは?

もともと、「世の中に必要とされなかった何かを誰かの希望に変える」というコンセプトで規格外の野菜や廃棄される素材を使った製品をつくる事業をしていました。そんなとき、勝山市の縫製工場で余った糸を活用して欲しいというお話があり、それから何度か訪れているうちに、このまちにもっと深く関わっていきなりたいと思ったのがきっかけです。

Q 勝山市の印象は?

勝山市は恐竜のまちとしても知られていますが、繊維産業が古くから盛んなまちです。農織りから縫製、組紐など様々な企業があり、それぞれが日本に誇るものづくりをしています。そして、地域発展のため、前向きに活動をしている方がたくさんいらっしゃいますね。

地域おこし協力隊とは、都市地域から人口減少や高齢化等の進行が著しい地域に移住して、地域ブランドや地産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への就業、防災支援などを行う「地域活性化」を目的とする。隊員は自治体の職員を受入れ、任期は概ね1年以上、3年以内です。総務省では、隊員数は令和8年度までに10,000人に達するという目標を掲げており、この目標に向け、地域おこし協力隊等の強化を行うこととしています。

ご清聴ありがとうございました

